MASPRO

超高性能型 UHFカラーテナー（家庭用）

ULTRA-SUPER UHF COLOR TENNAS

UHF ch13〜62

LS14（14エレメント） JEITA DH

LS20（20エレメント） JEITA DH

LS30（30エレメント） JEITA DH

UHF ch13〜44

LSL14（14エレメント）

LSL20（20エレメント）

LSL30（30エレメント）

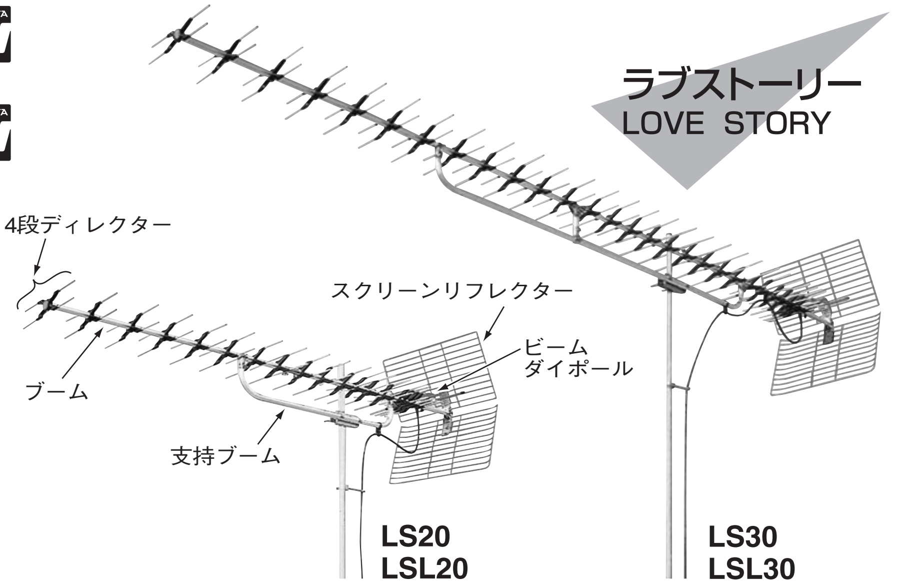
地上デジタル放送
推 奨 品
（LS14・LS20・LS30）

取扱説明書

水平・垂直偏波用

75Ω・200Ω用

ラブストーリー
LOVE STORY



MASter of PROduction 生産の覇者

大型スクリーンリフレクター（角型反射器）

大型スクリーンリフレクターによって，前後比が優れていますから，後方からの反射波による妨害を軽減して，きれいな画像を見ることができます。

4段ディレクター（導波器）

1つのホルダーに4本のエレメントを装備した高性能ディレクター（導波器）を採用していますから，高利得です。

ビームダイポール

フェイズシフター（位相器）を内蔵したマスプロ独自のビームダイポールは，広帯域にわたって，利得，VSWRが優れています。

アルミ製二重ブーム

ブームと支持ブームは，アルミ製の二重ブームですから，軽量で丈夫です。

JEITA DH JEITAディジタルハイビジョン受信マークは，（社）電子情報技術産業協会に登録された一定以上の性能を有する受信システム機器に付けられるシンボルマークで，衛星放送および地上ディジタルテレビジョン放送受信用アンテナや機器の性能を証明するものです。

⚠注意	アンテナを高所や屋根に設置する場合，技術と経験が必要ですから，必ず購入店にご相談ください。

アンテナ取付作業の注意点

- ●アンテナを取付けるときは，落下防止のため，アンテナや取付金具・工具をヒモで結ぶなどの安全対策をしてから作業してください。
- ●高所での作業は非常に危険です。ヘルメットをかぶり，万全の対策をしてください。また，屋根に登ると，思ったより高く感じられ，足場も不安定です。滑らないように，充分気をつけて作業してください。
- ●アンテナの取付け・支線張りなどの作業は，必ず2人以上で行なってください。
- ●雨降り・強風など，天候の悪い日の取付作業は非常に危険ですから，絶対にしないでください。また，夏の炎天下では，屋根が非常に熱くなっていますから，注意してください。
- ●感電防止のため，アンテナは電線（電灯線・高圧線・電話線など）からできるだけ離れた（万一，倒れても電線に触れない）場所に設置してください。
- ●台風や大雪などによって，アンテナ・取付金具・マスト・ルーフベース（屋根馬）・支線などに異常があったり，ボルト・ナットなどがゆるんだりしていないか，必ず点検してください。そのままにしておくと，アンテナや取付金具などの部品が，破損・落下して，けがや建造物に損害を与える原因となることがあります。
- ●アンテナが，破損・変形した場合，安全のため，新しいものと交換してください。

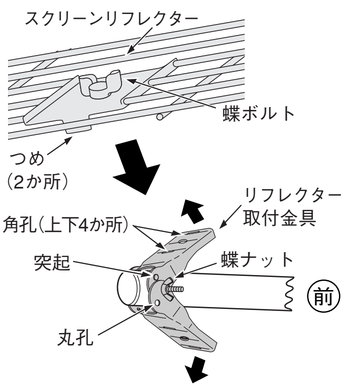
●ご使用の前に，この「取扱説明書」をよくお読みください。
●お読みになったあとは，保存してください。

マルチメディアの MASPRO ＝マスプロ電工＝

組立方法（水平偏波受信の場合）

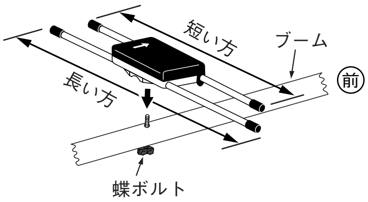
ブームと各エレメントの水平・垂直をよく確かめて，すべての蝶ナット・蝶ボルトをしっかりと締付けてください。

スクリーンリフレクター



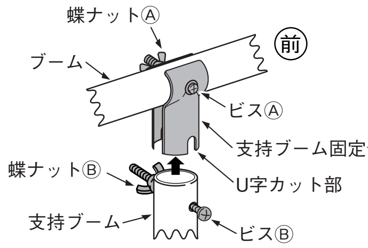
① リフレクター取付金具の突起が丸孔に入るまで広げます。
② リフレクター取付金具の蝶ナットをしっかりと締付けてください。
③ スクリーンリフレクターのつめをリフレクター取付金具の角孔に差込んで，蝶ボルトをしっかりと締付けてください。
（上下のスクリーンリフレクターを取付けます）

ビームダイポール

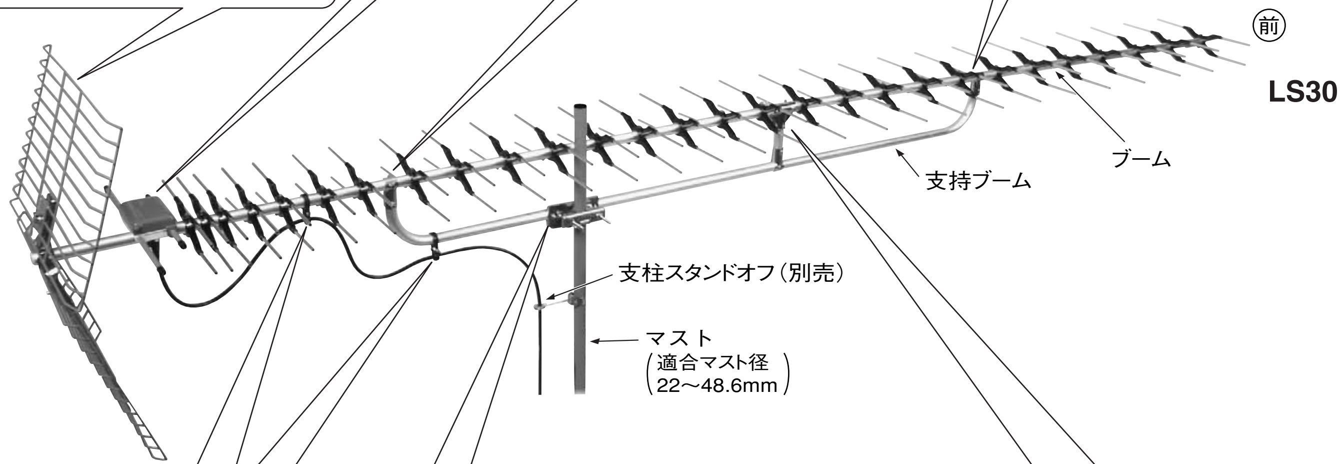


ダイポールの短いエレメント側を㊞前方向に向けて取付けてから，蝶ボルトをしっかりと締付けてください。

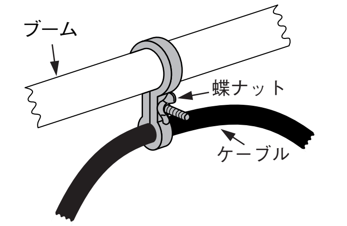
支持ブーム固定金具



① 支持ブーム固定金具を固定している蝶ナットⒶをゆるめます。
② 支持ブームに付いている蝶ナットⒷをゆるめ，ビスⒷの頭を引出します。
③ 支持ブーム固定金具のU字カット部にビスⒷを挿入します。
④ 蝶ナットⒶ・Ⓑをしっかりと締付けてください。

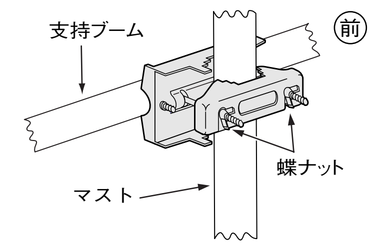


ケーブルストッパー



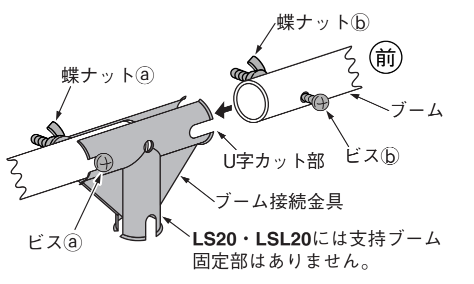
蝶ナットをゆるめ，ケーブルを取付けてから，蝶ナットをしっかりと締付けてください。

マスト固定金具



蝶ナットをゆるめ，マストを通してから，蝶ナットをしっかりと締付けてください。

ブーム接続金具（LS14・LSL14にはありません）



① ブーム接続金具を固定している蝶ナットⓐをゆるめます。
② ブームに付いている蝶ナットⓑをゆるめ，ビスⓑの頭を引出します。
③ ブーム接続金具のU字カット部にビスⓑを挿入します。
④ 蝶ナットⓐ・ⓑをしっかりと締付けてください。

ご注意

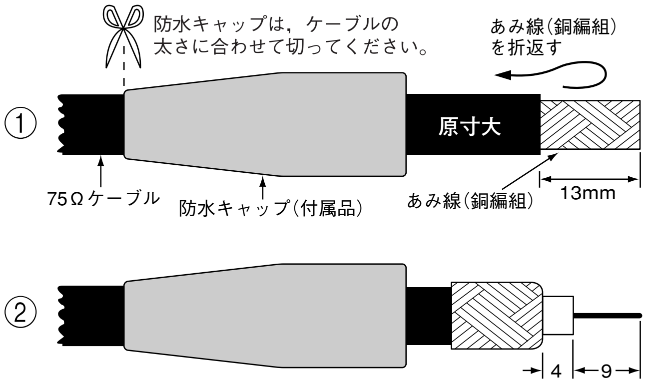
200Ω フィーダーを使用する場合，フィーダーが金属物・マスト・屋根などに触れないように別売の支柱スタンドオフ・瓦用スタンドオフを使用して配線してください。

ケーブルの接続方法

ケーブルの加工

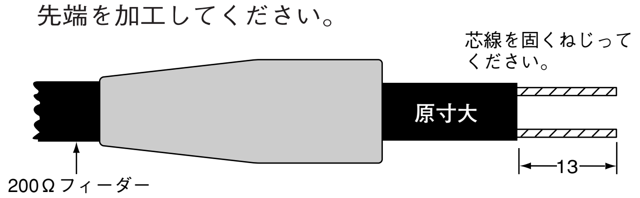
75Ωケーブルの場合

● 75Ωケーブルは，**5C**または**4C**をお使いください。
● ケーブルを付属の防水キャップに通してから，先端を加工してください。

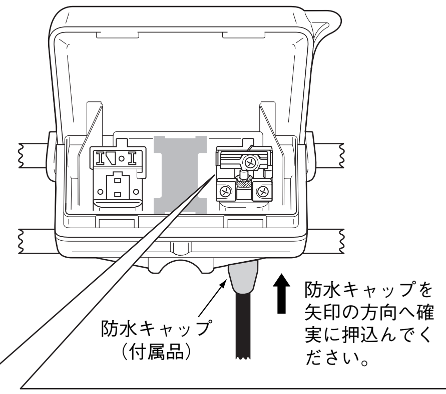


200Ωフィーダーの場合

● フィーダーを付属の防水キャップに通してから，先端を加工してください。



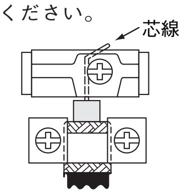
ビームダイポールへの接続



先にケーブルを固定してから，芯線を固定してください。

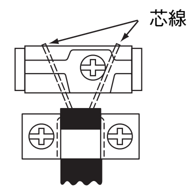
75Ωケーブル

● 芯線は，あみ線(銅編組)に触れないようにしてから，下図のようにまっすぐ挿入して固定してください。
● はみ出した芯線は，曲げてください。



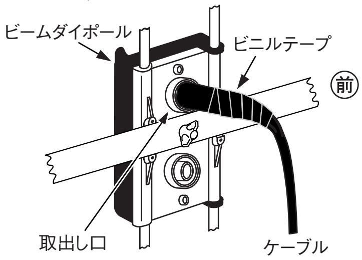
200Ωフィーダー

● 芯線を固くねじって下図のように挿入してください。
● 芯線は，はみ出さないようにしてください。

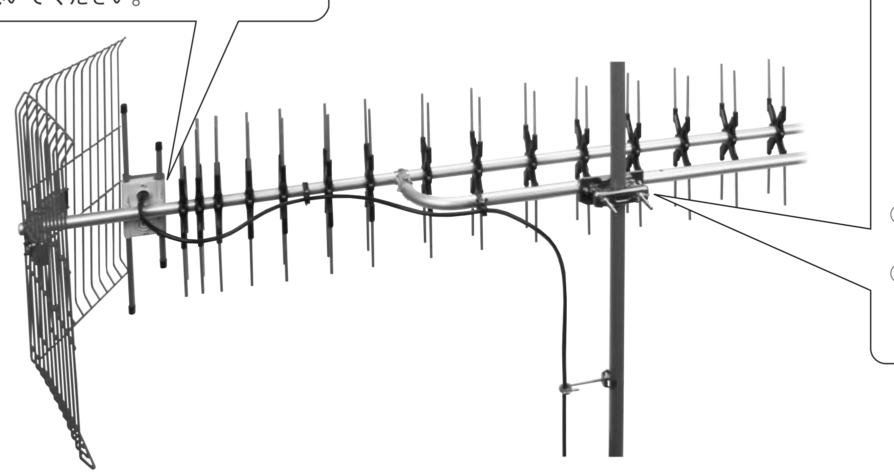


垂直偏波を受信する場合

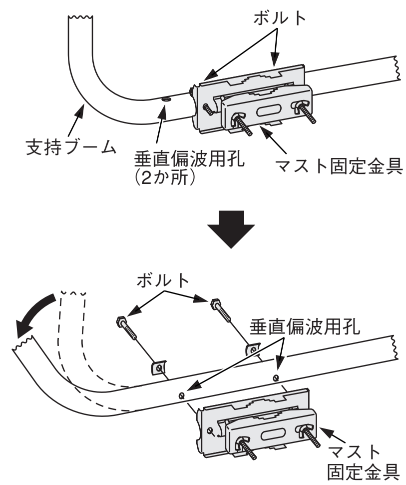
ビームダイポール



●ケーブルの取出し口を上にします。
●防水のため，市販のビニルテープを巻いてください。



マスト固定金具

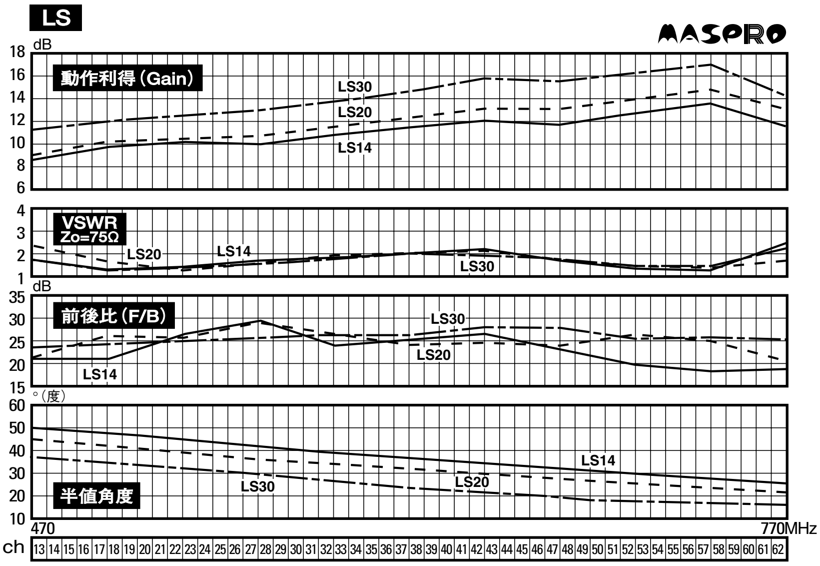


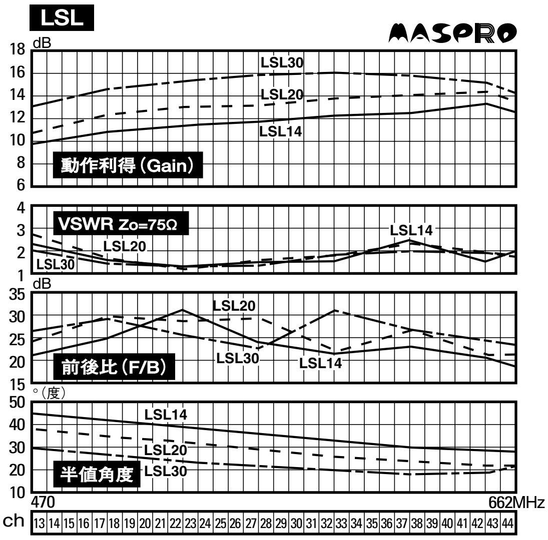
① マスト固定金具と支持ブームを固定しているボルトを取外します。
② マスト固定金具を垂直偏波用孔に付換え，ボルトをしっかりと締付けます。

アンテナの方向調整

①アンテナを左右に回転して，UHF電波到来方向に，アンテナの向きを合わせてください。
②テレビの画面を見ながら，最良の画像になる方向で，アンテナやマストをしっかりと固定してください。

性能





VSWRについて

VSWRは，インピーダンスの整合の度合を表したものです。VSWRが3以下（1に近いほど良い）なら，優れたアンテナといえます。

VSWR	整合損失（利得の低下）
1	完全整合で無損失
1.5	0.2 dB（損失）
2	0.5 dB（〃）
3	1.2 dB（〃）

付属品

防水キャップ ……………… 1個

指向性能

指向性は前後比と半値角度で表します。

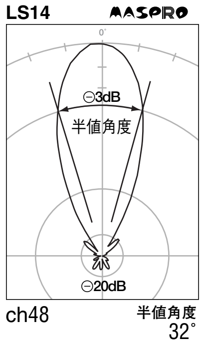
前後比（F/B）について

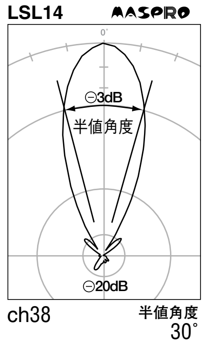
前後比は前方と後方の感度の比をdBで表したものです。前後比が大きいほど，後方からの反射波による妨害が軽減できます。

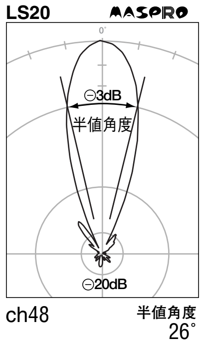
半値角度について

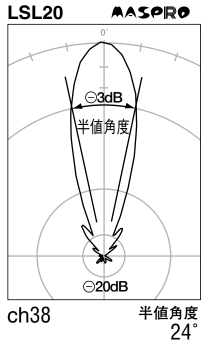
半値角度は指向性の鋭さを示し，半値角度が狭いほど，

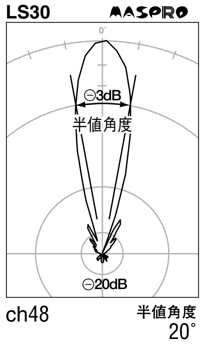
- ●前方からの反射波による妨害が軽減できます。
- ●動作利得が高くなります。

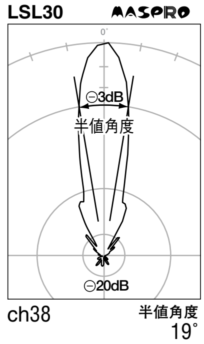












MASter of PROduction
生産の覇者

商標	第1502957号
特許	第2548557号
〃	第2620091号
意匠登録	第804960号

すべてのグラフは，マスプロ独自の全自動アンテナ測定装置が描いたものです。
マスプロの規格表・性能表に絶対うそはありません。ご理解と信頼あるデータにご期待ください。

製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。

2K55-695

マルチメディアの
＝マスプロ電工＝

本社 〒470-0194（本社専用番号）愛知県日進市浅田町
営業部 TEL名古屋 (052)802-2244
技術相談 〃 (052)805-3366
インターネットホームページ www.maspro.co.jp

支店・営業所
沖縄 (098)854-2768
鹿児島 (099)812-1200
宮崎 (0985)25-3877
熊本 (096)381-7626
長崎 (095)864-6001
福岡(支) (092)531-3861
北九州 (093)941-4026
下関 (0832)55-1130
広島 (082)230-2351
松江 (0852)21-5341
岡山 (086)252-5800
松山 (089)973-5656
高知 (088)882-0991
高松 (087)865-3666
姫路 (0792)34-6669
神戸 (078)843-3200
大阪(支) (06)6635-2222
工事営業部 (06)6632-1144
京都 (075)646-3800
津 (059)234-0261
岐阜 (058)275-0805
名古屋(支) (052)802-2233
工事営業部 (052)804-6262
豊橋 (0532)33-1500
静岡 (054)283-2220
松本 (0263)57-4625
福井 (0776)23-8153
金沢 (076)249-5301
新潟 (025)287-3155
横浜 (045)784-1422
渋谷(支) (03)3409-5505
工事営業部 (03)3499-5631
青戸 (03)3695-1811
八王子 (0426)37-1699
千葉 (043)232-5335
さいたま (048)663-8000
前橋 (027)263-3767
水戸 (029)248-3870
宇都宮 (028)660-5008
郡山 (024)952-0095
仙台 (022)786-5060
盛岡 (019)641-1500
秋田 (018)862-7523
青森 (017)742-4227
函館 (0138)53-7355
札幌 (011)782-0711
釧路 (0154)23-8466
旭川 (0166)25-3111
北見 (0157)36-6606

N-47-4695-11L

JUL., 2004